

1. 総括

利用者の個々の状態を正確に把握し、個々に応じた質の高いサービスを提供するために、自立訓練（生活訓練）事業をスタートした。利用者が自立した生活を営むための調理や掃除等の訓練を行い、生活能力の維持向上に必要な支援を提供した。

2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	15	22	255
延利用者数	34	39	60	70	67	67	71	66	58	45	43	76	696
1日平均利用者数	1.5	1.7	2.7	3.1	3.0	3.0	3.2	3.0	2.6	2.2	2.8	3.4	2.7

※主な欠席理由：体調不良・精神不安定・家事都合

3. 担当職員

サービス管理責任者:神戸真弓

生活支援員：大類法子

生活支援員：高山恵美子

4. 成果と課題

(1) 生活支援

【成果】

- ・外部講師による学習会を開催することができた。自立のために必要な感情のコントロールの仕方や、食事と健康などについて学ぶことができた。
- ・利用者さんの個々のニーズを確認しながら、個別の計画を立てることができた。
- ・健康チェック表を作成して健康管理を行った。
- ・通院や買い物、書類作成などの手続きについても、きめ細やかな支援を行った。

(2) 就労支援

【成果】

- ・個別にスケジュール管理を行い、清掃作業や調理補助作業を通してアセスメントがおこなえた。
- ・商店街での施設外実習などを通して、就労に必要なスキルのアセスメントがおこなえた。

【課題】

- ・調理補助と清掃作業の時間が重なってしまい、清掃作業の確認ができないときがあった。

(3) 職員会議・支援会議

○職員会議

- ・毎月1回開催
- ・研修会を通して、職員のスキルアップを図った。

○支援会議

- ・月に1回開催
- ・職員全体で情報を共有し、支援の統一を図った。

(4) 外部研修

- ・利用者一人一人の力を高める支援（大類）
- ・サービス管理責任者研修受講資格取得研修（大類）
- ・精神・発達障害者職場定着サポートスキルアップ研修（大類）
- ・中小企業家同友会例会（大類）
- ・虐待防止権利擁護研修（全職員）
- ・知的障害のない神経発達症者の特性理解（全職員）